

# TOSHIAKI HIROSE

ジャパンラグビートップリーグ／東芝ブレイブルーバス所属 ウィング  
ラグビー日本代表チーム主将

## 廣瀬俊朗さん

—廣瀬さんは吹田市出身、北野高校でラグビーをしていたとお聞きしていますか？

大学は慶応なので、その後はずっと東京です。今は関西には試合の直前に入るか、オフで1週間ぐらい実家に立ち寄る程度です。関西のスポーツ事情はあまりわかりませんが、ラグビー、とくに青少年のラグビーは今も関西の方が盛んですね。

—東芝ブレイブルーバスの戦況は？

ポテンシャルは大きいと思います。ただ十分力を出し切れていない。今は苦しんでいるところで、殻を抜け出したときにきつといい試合ができるかと確信しています。日本選手権もほしいですが、一番ほしいのはやはりトップリーグです。

—6月のウェールズ戦での歴史的勝利

1試合目は大阪の花園ラグビー場（東大阪）が満員になりました。これは大阪出身としてとてもうれしかったです。日本代表戦で花園が満員になったのは初めてかな。選手たちも気持ちがかき立てられ、あと一歩まで追い詰めることができました。2試合目の秩父宮はチャンスを活かして勝利できました。

これまで勝てなかった強豪国に勝てた…その実体験はとても大きかったと思います。自分やチームだけでなく、まわりの目も変わったような気がします。

—2019年ワールドカップに向けての転換点になった？

そうですね。日本代表を、ラグビーをもっと応援しよう。そういう雰囲気が出てきたような気がします。ラグビー人気復活のために一番いいのは日本代表が強くなること、その立場に自分たちがいるという意識はあります。11月2日のニュージーランド・オールブラックス戦も、いい調子に仕上がっていますし、いい試合になると思います。できることをやりきって勝ちます。

—ラグビーのおもしろさ、魅力として伝えたいのは？

一つは「格闘技」としての魅力。身体

をぶつけ合うシンプルなところ。もう一つは、体格や能力など違った個性を持つ人が同じルールの下でボールをつないでトライにもっていくところ。

弁護士の方にももっともっと見に来てほしい。理屈ではなく、身体で感じる何かを試合で感じてもらえればうれしいですね。ガツンと当たる瞬間とか、きつと本能的なものをかき立てられるはず。です。

—弁護士に対して期待すること

日本はスポーツに対する価値やスポーツに対する認知度のようなものが低いような気がするんですね。サッカーの日本代表戦でも、盛り上がりたいたいという気持ちが中心で、それはそれでいいんです。ただ、もっとスポーツを大事にするような土壌が育ってほしいと思っています。ヨーロッパなどに比べるととくにそう思います。

弁護士には、うまく言えませんが、スポーツを愛する文化を作り育てる、土台作りやサポートをしてもらいたいと思っています。

—将来、日本のラグビー界を背負う立場を期待されています

今はトップリーグや日本代表戦など大きな仕事の最中ですし、先のことなので何とも言えません。ただ、ラグビーに育てられたという思いはありますので、何らかの恩返しはしたいと思っています。

(Interviewer:宮島繁成 / Photo:加藤智子)

### ジャパンラグビートップリーグ2013-2014

#### ◆今後の試合日程

12月1日(日) 14:00 Kick Off  
対 トヨタ自動車ヴェルブリッツ戦  
近鉄花園ラグビー場にて

12月14日(土) 12:00 Kick Off  
対 NECグリーンロケッツ戦  
東京・秩父宮ラグビー場にて

※ その他の試合日程については、ジャパンラグビートップリーグHP等でご確認ください。



スポーツを大事にする文化を育てる

OPINION  
オピニオン・スライス  
SLICE